

投稿原稿用執筆の手引き

(2011年11月10日改正)

1. 原稿の体裁

1.1 原稿作成にあたって

学会ホームページからワード版の原稿の作成例 (<http://www.highpressure.jp/journal/rule/index.shtml>) をダウンロードしてそれに上書きすることで原稿を作成して下さい。

1.2 原稿の項目

原稿には以下の項目が含まれていること。

和文題目 (日本語) :

英文題目 (英語) : 各単語の最初の文字は大文字 (冠詞・前置詞・接続詞を除く)。

著者名 (日本語) : 姓・名の順。姓・名の間に半角スペース。外国人は名・姓の順で英語表記。著者が複数の場合, Corresponding author 名の右肩に “*” を付ける。

著者名 (英語) : 名・姓の順。姓はすべて大文字。著者が複数の場合, Corresponding author 名の右肩に “*” を付ける。

著者所属 (日本語) : 著者全員の所属。所属所在地, 所属学部学科・部課の順。所属と著者が複数で対応がつかない場合, 執筆者名, 所属に “[1, 2]” のように番号を振って区別する。

著者所属 (英語) : 著者所属 (日本語) と対応のこと。

電子メールアドレス : Corresponding author のみ。電子ジャーナルへメールアドレスの掲載を希望されない場合は原稿提出の際にお知らせ下さい。

Abstract : 英文。約 100 語。

Key words (英語) : technical term で 5~8 個程度。固有名詞は先頭を大文字, その他はすべて小文字。

本文: 和文。大見出し: “1.”, “2.” のように番号を付ける。中見出し: “1.1”, “1.2” のように番号を付ける。小見出し: “1.1.1”, “1.1.2” のように番号を付ける。

謝辞 : 和文。見出しは番号を付けず “謝辞” とする。

参考文献: 参考文献の番号は, 半角文字を用い “[1]”, “[2]” のように通し番号で記述する。本文中の引用は, “...の解説[3]に記されている。...に解説が書かれている[4,5]。...の研究[6-8]が行われている。” などのようにする。参考文献リスト作成は, 1.4 参考文献の書式を参照のこと。

図・写真・表の Captions : すべて英語。最初の文字のみ大文字。Figure, Table の番号は, “Fig. 1.”, “Fig. 2.”, “Table 1.”, “Table 2.” のように通し番号で記述する。本文中で図・写真・表の説明をする場合は, 必ず半角文字を使用し “Fig. 1 で” “Table 1 で” というように書き, その挿入位置を原稿左右の余白に明示すること。

図・写真・表 : 図・写真・表中で使用される文字・文は原則として英語を使用すること。図・写真・表の原図は “Fig. 1.”, “Table 1.” 等の番号がわかるように明示すること。

1.3 書式について

英単語・数字・物理量単位は, すべて半角文字。英語指定箇所は欧文フォントを用い, 必ず半角文字を使用のこと。全角文字 (例: °C, %, ~, など) は使用不可。句点は「。」読点は「,」とする。

参考文献リストに関しては 1.4 を参照のこと。それ以外の項目は以下を参照。

日付 : 全て西暦で表示する (数字は半角文字)。

単位 : 数字と単位の間には半角スペース。但し, %, °C の場合は不要。物理量の単位は必ず国際単位系 (SI) を使用 (他の場合, 換算値を入れる)。

文字指定 : ボールド, イタリック, 上付き, 下付き, ギリシャ文字等の文字はワープロソフト上で指定する。テキスト原稿のみの場合は印刷した原稿に文字指定等を行うこと。

数式 : 物理量を表す記号はイタリック, 数字・単位記号・元素記号・演算子はローマン (立体文字), ベクトルはイタリックのボールド等 (添字も同様)。

(例) $S = 350 \text{ cm}^2$ $\text{rot } \mathbf{H} = \mathbf{J}$ イコールの前後
 $T = 300 \text{ K}$ $\text{GaAs}_{1-x}\text{P}_x$ は半角空ける

$$\oint_C \mathbf{H} \cdot d\mathbf{s} = I$$

特殊文字 : ユーザー定義文字は使用しない。

1.4 参考文献リストの書式

参考文献は下記の点に注意しながら凡例にしたがって記述すること。

- (1) 漢字・ひらがな・カタカナ以外はすべて半角。
(例) [] () . , :
- (2) 人名のイニシャルが2つ続く場合はピリオドの次にスペースを入れない。和文著者名、執筆者名、編者名はフルネーム。著者が複数のときは、“*et al.*”, “他”で略さない(ただし著者が10名以上の場合にはこの限りではない)。著者と著者の間はコンマ“, ”で区切り and は入れない。1つの文献番号には1つの文献を引用する。
- (3) 著者名の後に英語・日本語を問わず半角コロン“:”と半角スペースを入れ、雑誌名または書名を続ける。
- (4) 書籍の場合には、可能であれば国際標準図書番号ISBNを示す。
- (5) 雑誌名と巻の間には必ずカンマが入る。
- (6) 雑誌にアルファベットによる区分がある場合は、区分までを雑誌名とする。

凡例

雑誌論文:

- [1] W.F. Brinkman, P.W. Anderson: *Phys. Rev. A*, **10**, 2386 (1974).
- [2] E. Ito, M. Akaogi, L. Topor, A. Navrotsky: *Science*, **249**, 1275 (1990).
- [3] 金品昌志, 松木均: *高圧力の科学と技術*, **4**, 223 (1995).

書籍 (英文, 分担執筆者記名あり):

- [4] J.B. Hasted: in *Water*, ed. F. Franks (Plenum, New York, 1972), Vol. 1, Chap. 7, pp. 276-288.
- [5] S.K. Sikka: in *Proc. the XIII AIRAPT Intl. Conf. on High Pressure Sci. Tech.*, ed. A.K. Singh (Oxford and IBH Publ., New Delhi, 1992, ISBN 812040713X), p. 254.

書籍 (和文, 分担執筆者記名あり):

- [6] 八木健彦: *新しい高圧力の科学*, 毛利信男編 (講談社サイエンティフィック, 東京, 2003), 第5章, pp. 202-222.

書籍 (英文, 分担執筆者記名なし または 分担執筆者なし (編者なし)):

- [7] N.S. Isaacs, W.B. Holzapfel, eds.: *High Pressure Techniques in Chemistry and Physics: A Practical Approach* (Oxford University Press, Oxford, 1995).
- [8] D.C. Wallace: *Thermodynamics of Crystals* (Dover, New York, 1972), Chap. 3, p. 106.

書籍 (和文, 分担執筆者記名なし または 分担執筆者なし (編者なし)):

- [9] 小泉光恵編: *燃焼合成の化学* (ティーアイシー, 京都, 1992).
- [10] 荒田洋治: *水の書* (共立出版, 東京, 1998), 第2章, p. 43.

予稿集・学会発表:

- [11] 加藤えり子, 山脇浩, 藤久裕司, 坂下真実, 青木勝敏: 第41回高圧討論会講演要旨集, 1B09, p. 39 (2000).

投稿中・私信:

- [12] A. Jayaraman: *Rev. Mod. Phys.* (submitted).
- [13] T. Kuroda (private communication).

1.5 図表について

- (1) 図・写真・表中の文字は原則として英文で記述すること。図・写真・表の横幅は仕上がり70 mm (1段幅)になる。この大きさで図・写真およびそれに含まれる文字や線・網掛けが綺麗に且つ正しく認識できるように作成すること。(2段を使用して150 mm幅にすることも可能)
- (2) デジタル化した図・写真等の原図は、一般的に読めるJPEG等のビットマップ形式やPDF形式で作成すること。(ベクトル形式, Power Point等のファイルは不可) また、これら形式による原図ファイルをワープロソフト上で原稿内に挿入してもよいが、これとは別に原図ファイルは必ず提出すること。
- (3) カラー印刷 (1頁1万円著者負担) については別刷申込書, カラー印刷の項目を参照のこと。

1.6 図・写真・表の挿入位置, カラーの指定

原稿に図・写真・表を挿入する位置, カラー (モノクロ印刷, カラー印刷, またはカラーオンライン) を指定する。図・写真・表は、これらを引用する最初の文章のなるべく直後に挿入することが望ましい。

2. 提出物

1. 原稿・原図ファイル
2. 著作権・出版権の委譲承諾書
3. 著作権所有者の転載許可書(他誌からの図版の転載がある場合)
4. 別刷申込書(カラー印刷申込書を兼ねます)
5. 2名以上の査読者の推薦

*原稿ファイルは、図や写真を張り込んだ MSWord 形式、またはテキスト形式として下さい。

*原稿ファイルとは別に必ず個別の原図ファイル [JPEG, PDF 等] もお送り下さい。

*書類 2, 3, 4 はホームページよりダウンロードできます。

*他の著作物(著者自身の論文等を含む)からの図表の転載がある場合は、必ず著作権者(通常、出版社か学会)から転載許可書を入手し、提出願

います。近年、転載許可依頼の方法が出版社や学会により大きく異なってきておりますので、該当論文の出版社や学会のホームページ等を参照して下さい。特にアメリカ物理学会および日本物理学会では、著者自身の図表か第三者の図表かによって依頼方法が異なっております。また、著作権者から図表の説明文中に転載元を明示することを求められる場合がありますのでご注意ください。

3. 提出先:

日本高圧力学会 編集委員会

〒530-0001 大阪市北区梅田 1-11-4

大阪駅前第4ビル9階 923-674号

株式会社ポラリス・セクレタリーズ

・オフィス(内)

E-mail: editorial@highpressure.jp

*提出物はメールでお送り下さい。